

自分の魅力を伝えよう

～この時間のお願い～

- ・「正解」を求めないでください。「正解」はありませんし、人によってそれぞれ異なります。
- ・考えていく「過程」が大切です。そして、これから、「将来」に生かしてください。

はじめに

自分の魅力を3つ挙げてください。

他の人に伝えられそうですか？

すぐ出てきましたか？

出てきたけど、自信を伝えられそうですか？

どのように伝えますか？

恥ずかしさなどはありませんか？

意外と難しいかもしねないが…

「あるかどうか」ではなく、「気付いているかどうか」

はじめに

“自分の魅力”を伝える場面って、どんなときだと思いますか？

- ・「進学」するための面接のとき
- ・「就職」するための面接のとき
- ・「アルバイト」をするための面接のとき
- ・「初対面の人と仲良くなる」のとき
- ・「他の人に、自分をより深く知ってもらう」のとき

人生の様々な場面で必要となり、「誰に」を意識する！

はじめに

なぜ、“自分の魅力”を伝える必要があると思いますか？

相手には、あなたの“中身”が見えない。

だからこそ、自分で言葉にして伝えることが必要である。

“入学試験や” “就職試験”などの面接のためだけではなく、
「自分を肯定し、未来に向けて一歩踏み出す」ために重要！

この時間の流れ

I. 【自分を知る】経験を振り返り、自分の魅力を考える

→経験の中にこそ“その人らしさ”が現れ、“言葉にできた瞬間”に、自分の価値に気付く。

2. 【相手を知る】「相手が求めるもの」を知る

→“優しさ”が魅力だとしても、“それがこの仕事でどう生かせるか”が伝わらないと相手には響かない。

3. 【関係付ける】「相手が求めるもの」に合わせて伝える

→教員採用試験で“私は努力家”という人は多いが、“どんな努力をして、教師としてどう生かしたいのか”まで言える人は少ない。

【自分を知る】自分の魅力を考える

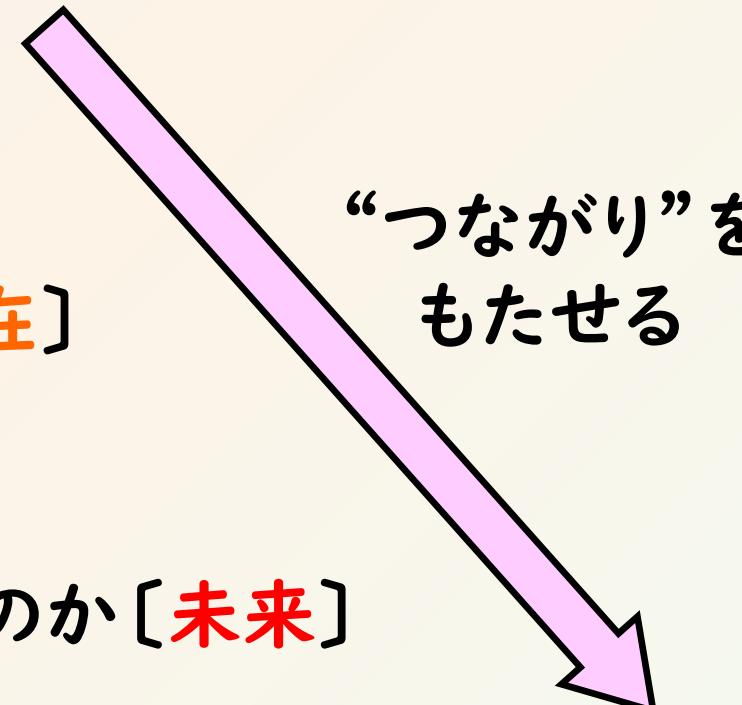
1. どのような経験をしたのか [過去]
→ 実際のエピソード、行動、困難など

2. 何を学び、どのような力がついたのか [現在]
→ 得たスキル・考え方・価値観など

3. 今後どのように生かしたいのか、生かせるのか [未来]
→ 教員としての志望・将来のビジョン

～手順①～

- ・自分に当てはまるキーワードカードを「直感で」3~5枚選ぶ。
- ・そのキーワードを選んだ理由、その特性が現れた具体的な経験を考える。



“つながり”を
もたせる

【自分を知る】自分の魅力を考える

～「過去→現在→未来」をつなないだ例～

[過去]

[現在]

[未来]

毎日部活を頑張った → 継続力、責任感 → 子供たちの成長を支える

苦手な数学を克服した → 粘り強さ、工夫する力 → わかりやすい授業づくり

友達の相談にのった → 共感力、聞く力 → 気持ちに寄り添った対応

クラスで話合いをリード → 協調性、まとめる力、発信力 → 組織として、保護者連携



「私は〇〇なところが強みです。なぜなら、△△という経験を通して、□□という力がついたからです。教員になつたら、☆☆に生かしていくことができます。」

こんなイメージです

【相手を知る】「相手が求めるもの」を知る

1 子供たちと共に成長し続ける教員

令和8年度採用群馬県公立学校教員募集要項

- 変わりゆく状況に柔軟に対応し、新しい物事にも前向きに取り組むことができる。
- 子供を中心の学びとなるよう、子供たちの学びをリードしたり支援したりする「伴走者」としての役割を果たすことができる。
- 子供たちを信じて、温かく励ましながら、「失敗を恐れない心」や「人とつながる力」、「自分で考え、判断し、行動する力」などを伸ばすことができる。

2 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員

- 教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考え方や特性を認めながら子供たちの可能性を伸ばすことができる。
- 組織の一員としての自覚をもって連携・協力とともに、互いに高め合うことができる。
- 郷土の歴史や文化、生活等について理解し、保護者や地域、関係機関等と連携・協働することができる。
- 高い倫理観と規範意識を備え、社会人として適切に判断して行動することができる。

3 幅広い視野と高い専門性を有する教員

- 教科等に関する専門的な知識や技能を有し、主体的・対話的で深い学びにより、子供たちに「たくましく生きる力」を育むことができる。
- 情報化やグローバル化など社会の変化をとらえ、専門性を高めるために日々努力し、学び続けることができる。
- 子供たちの実態や発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会の形成を目指すことができる。
- 学校教育目標の実現に向けて、保護者や地域の思いや願いを生かしながら、組織的・計画的に教育活動を行うことができる。

【相手を知る】「相手が求めるもの」を知る

I 子供たちと共に成長し続ける教員

令和8年度採用群馬県公立学校教員募集要項

- 変わりゆく状況に柔軟に対応し、新しい物事にも前向きに取り組むことができる。
- 子供が中心の学びとなるよう、子供たちの学びをリードしたり支援したりする「伴走者」としての役割を果たすことができる。
- 子供たちを信じて、温かく励ましながら、「失敗を恐れない心」や「人とつながる力」、「自分で考え、判断し、行動する力」などを伸ばすことができる。

2 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員

- 教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考え方や特性を認めながら子供たちの可能性を伸ばすことができる。
- 組織の一員としての自覚をもって連携・協力とともに、互いに高め合うことができる。
- 郷土の歴史や文化、生活等について理解し、保護者や地域、関係機関等と連携・協働することができる。
- 高い倫理観と規範意識を備え、社会人として適切に判断して行動することができる。

3 幅広い視野と高い専門性を有する教員

- 教科等に関する専門的な知識や技能を有し、主体的・対話的で深い学びにより、子供たちに「たくましく生きる力」を育むことができる。
- 情報化やグローバル化など社会の変化をとらえ、専門性を高めるために日々努力し、学び続けることができる。
- 子供たちの実態や発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会の形成を目指すことができる。
- 学校教育目標の実現に向けて、保護者や地域の思いや願いを生かしながら、組織的・計画的に教育活動を行ふことができる。

【関係付ける】「相手が求めるもの」に合わせて伝える

～手順②～

- ・該当部分をグループで読み取り要約をする。
- ・どの言葉と接点があるか考え、【**自分を知る**】とどう結びつくか考える。
（「伝える」までではなく、「考える」までOKです。）

※わからない用語などはメモをして(チェックをつけて)おき、後で調べる。

※「『自分で考え、判断し、行動する力』とは、実際の学校現場では、どのように指導されているのだろう?」について知りたい場合は…午後の機会を生かす。

具体的な進め方、時間配分などについては、各グループに任せます。
グループ同士の共有なども構いません。「自分で考え、判断し、行動して」ください。